

アラバマ青少年合唱団から感動のメッセージ届く 素晴らしい出会いと友情が！

★ローレル・プロクター:理事 (Laurel Procter, Administrator of the Alabama Choir School)

今回の日本の旅、特に習志野での経験は一生忘れません！習志野で出会った新しい友達のおもてなし、愛情、準備にさいてくださった多くの時間のおかげで、今回は私たちアラバマ青少年合唱団のこれまでの経験の中で最高の旅になりました。

私たちは今でも皆さまから受けた惜しみないおもてなしと出会った方々のことを話しあっています。習志野は本当に私たちの「姉妹」または家族だと感じています。来年の30周年にこちらでお会いできることを楽しみにしています。

私たちが空港に到着して、NIAの多くの皆さまのお出迎えを受けた瞬間から、おもてなしと愛情が始まりました。歓迎団の皆さまが並んで、笑顔でアラバマシェイカーを振って出迎えてくださいました。多くの皆さまの中で特にデビッドさん、ロミー、ジュン、ジェシカとすぐに親しくなりました。この絆は途切れることはないでしょう。たくさんの習志野の皆さまが多くの時間をさいて、習志野の素晴らしい場所に案内してくださり、この美しい国の歴史や文化を教えてくださいました。私たちの旅は忘れられないものとなりました。また、メンバーがそれぞれ楽しめるようにしてくださったので、よりすばらしい旅になりました。習志野の皆さまの案内で、原宿のユニークな通りを歩いたり、ジュン、ロミー、ジェシカや他の習志野の女性と買い物を楽しんだりすることができました。その間に育まれた友情が手元の最高に楽しい写真に良く表れています。あの時の楽しさは一生忘れません。

文化ホールでの私たちのコンサートはこれまでの中でも最高の出来の一つになりました。習志野の友達のおかげです。熱心な聴衆であり、どんなときでも助けてくださいました。そして、ロミーが計画してくれた豪華なパーティー、素晴らしかった！！私たちの合唱団のメンバーと家族にとって本当に特別な時間でした。メンバーは、コンサートの前後で行った習志野高校の生徒さんとの交流がとても楽しかったと言っています。メンバーが日本の学生と小さな輪を作って、笑いあったり写真を撮ったり（自撮り）しているのを楽しんで見ました。言葉の壁を乗り越えてつながる絆。なんて素晴らしいのでしょうか。メンバーにこの旅でどこが一番楽しかったかを聞けば、誰もが「学生と一緒に過ごしたとき。彼らとおしゃべりしたときと彼らの演奏を見ていたとき」と答えることは疑いありません。メンバーにとってあの交流は何よりもわくわくする思い出になりました。あのような機会を作ってください、改めてお礼申し上げます。それから、東邦高校で私たちのバスが到着したとき、整列してお出迎えしてくださったときは胸にせまるものがありました。学校とご家族の皆さま全員が盛大に歓迎してくださり、学校のオーケストラとの共演の後、茶道、書道、弓道、武道の実演など、学校の文化活動を紹介してくださいました。お食事大変美味しかったです。NIAの皆さまのおかげで実現した私たちの日本文化とのふれあいは、普通の旅行者は決して体験できないものでしょう。私たちの旅と絆は、掛け値なしに本当に特別なものになりました。学生たちの豊かな才能には驚きました。共に日々の活動を行う中で多くの友情が生まれました。本当に感謝しています。

皆さまにどうぞよろしくお伝えください。皆さまがタスカルーサにいらしたときにお会いできることを楽しみにしています。皆さまのことや美しい都市と心、素晴らしい出会いと友情について、今でも皆で話しています。

愛と尊敬を込めて

ローレルとドフ・プロクター



左：ローレル・プロクター

右：ドフ・プロクター

